「林業事業体による森づくり」部門

間伐作業システムハーベスタを核と 夢の森つやま協同組合(宮城県) ーベスタを核とした

間伐推進中央協議会会長賞

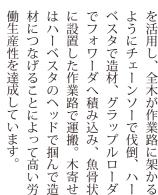
伐の共同受注事業を実施するた 削減による森づくりに努めていま 効率化を図り、間伐材生産の経費 | 二年一一月に設立。組合員所有 林業機械を有効活用し、 夢の森つやま協同組合」は間 (現在は六人)が集まり、 町内林業者や素材生産者の五 作業の 平成

よう工夫されたもの。 の列を斜め下方に交差させる方法 間伐は、列状間伐(三残一伐) 森林所有者の抵抗感をなくす ハーベスタ

の積み込み

り入れ、高密度に開設した作業路 を核とした間伐作業システムを取 を活用し、全木が作業路に架かる ハーベスタのヘッドで掴んで造 木寄せ

伐材の材質に応じて販売すること 製材工場や合板工場へ直納したり、 元を実現しています。 により森林所有者への高い利益還 小径木加工用に販売するなど、 これらの取組に加え、間伐材を



ベスタのヘッドで掴んで造材

地元説明会



グラップルロ

-ダによるフォワ

低コストの作業路

「森林ボランティア団体等による森づくり」部門

間伐や作業路の開設を実施してい ます。また、林野庁補助事業を活 するとともに、その計画に基づき 地化を図り(一二六.二ha 地元の森林所有者などがNPO法 山村の活性化を図ることを目的に 川根町笹間地区の森林荒廃防止や 者二〇名)、森林施業計画を樹立 有者に対する説明会を開催し、 S川根・NPO」を設立。森林所 人「特定非営利活動法人森づくり 所有 寸

割を果たしています。 用を提供する場としても重要な役 う役割だけでなく、間伐などの森 などを定年退職した人たちの再雇 林整備を通じて森林組合や建設業 者に代わり、地域の森林整備を担 高齢化、不在村化する森林所有

S 川根 (静岡県

森林施業計画を樹立

平成一八年四月、

静岡県島田

団地化を図り

路を開設するため、 らに、壊れにくい低コストの作業 合意形成に取り組んでいます。さ の森林の施業や路網の整備にかか 用し、一〇〇年先を見据えた地 するなど地域に信頼される森林づ わる構想を策定し、森林所有者の くりに務めています。 研修会を実施

「暮らしに役立つ間伐材利用」 部門

立。「家具製作所Kiiro」では、

一〇〇八年に長崎県対馬市で設

林野庁長官賞 冢具製作所Kii

r

0

(長崎県)

間伐推進中央協議会会長賞

会津産木材供給連絡会

(福島県)

対馬ヒノキにこだわった 家具づくり

くの人に対馬ヒノキのもつ暖かな りを心掛け、次の世代にも受け継 家具、木の色をいかした家具づく 黄色の温かくて明るいイメージの 育った対馬ヒノキにこだわり、多 つ丁寧に製作しています。 ルデザインの家具、小物を一つ一 シンプルで飽きのこないオリジナ いでずっと使ってもらえるように、 材料は、地元の雄大な自然で

> 肌触り、 かい色、 シュを使用しています。 透させて保護するオイルフィニッ をいかすため、オイルを木材に浸 対馬ヒノキのもつ木目などの魅力 ラスして製作。塗装については、 に、シンプルな中にも遊び心をプ いかし、色のある木をアクセント しています。対馬ヒノキの質感を 合から対馬ヒノキの間伐材を購入 を伝えていきたいと考え、 やさしい香りなどの魅力 表情豊かな木目、 やわら

キーホルダー

サイドボード

「暮らしに役立つ間伐材利用」 部門



小学校の内装材に間伐材を利用

安定供給を目指して 会津産材の

した。 が揃わなく、歩留まりが悪い、 事業において可能な限り木造化を進め 消の取組として、 てに手間がかかるなどの課題がありま ています。しかし、当初は丸太の規格 福島県では平成一四年度から地産地 公共施設や森林土木 組み立

現れています。 製品を納入することができるようにな を確保し、 設立。本連絡会では福島県から受ける 製材業者が連携し、会津産材の安定供 ル化することで、寸法・規格の揃った が図られました。間伐材を製材しパネ 丸太法面工、丸太柵工で製品の規格化 土木事業では、 案を県・市町村に行なった結果、森林 製材業者などが製品の規格化などの提 品するシステムを確立しました。また、 報を基に、森林組合などが間伐材など 公共事業に関する木材需要量などの情 給、事業量の安定確保を目標に、平成 五年に「会津産木材供給連絡会」を このため、 施工性が高まるなど様々な効果が それを製材業者が製材・納 森林組合、素材生産業者 治山ダムの残置型枠、